

流産・死産経験者に対する 情報提供に関するアンケートの 分析結果

アンケート実施期間

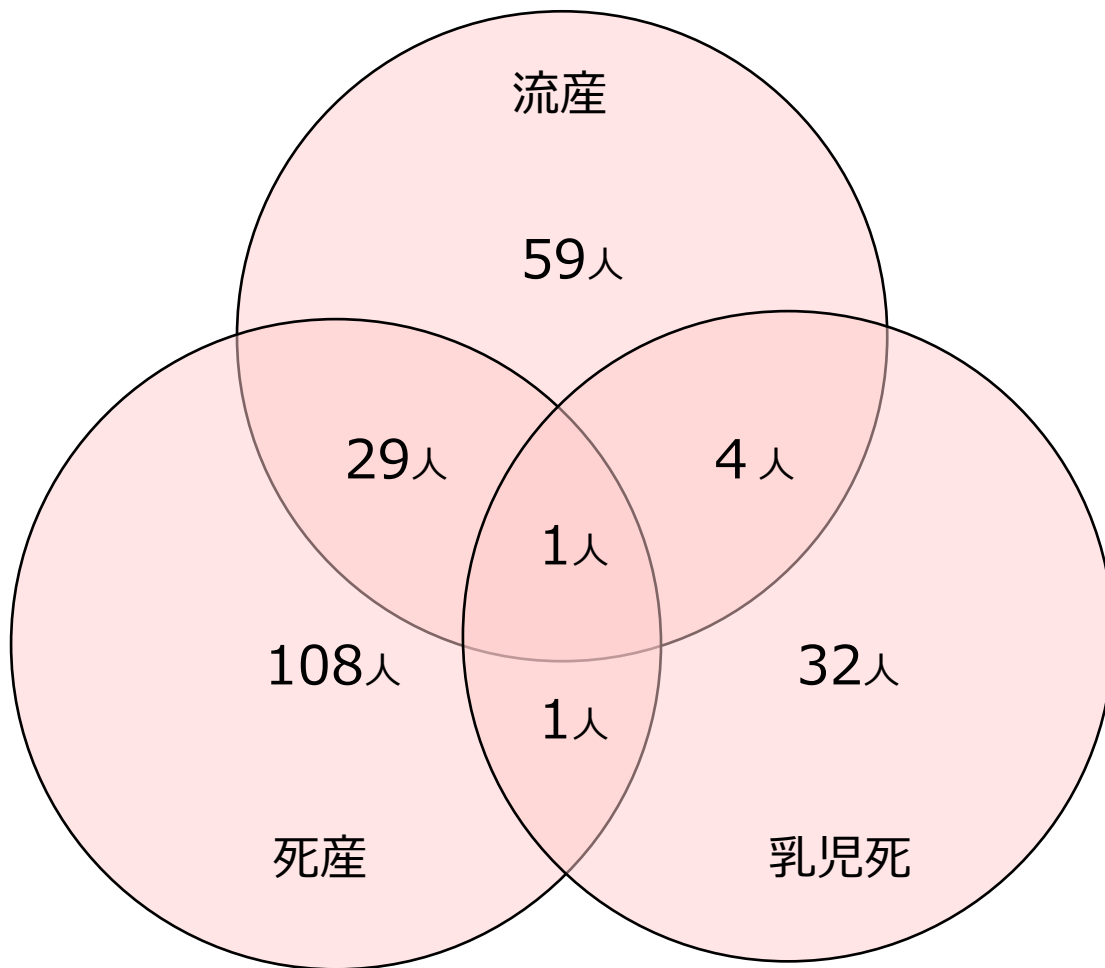
2021年7月12日（月）～7月18日（日） 7日間

アンケート方式

インターネット

調査：アンズスマイルグループ

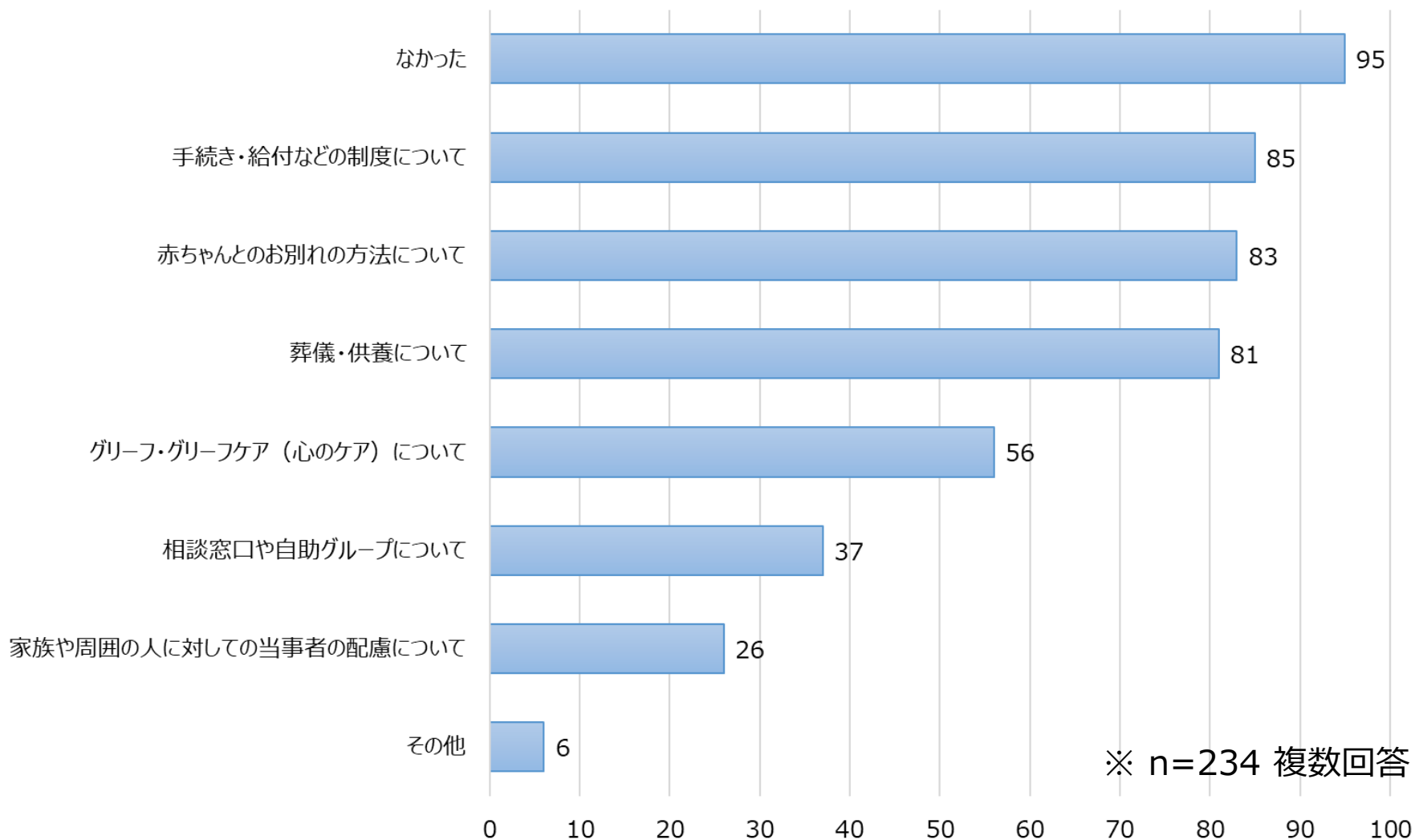
回答者のプロフィール



流産 93人/39.7%
死産 139人/59.4%
乳児死 38人/16.2%
全234人 複数回答

病院から情報提供

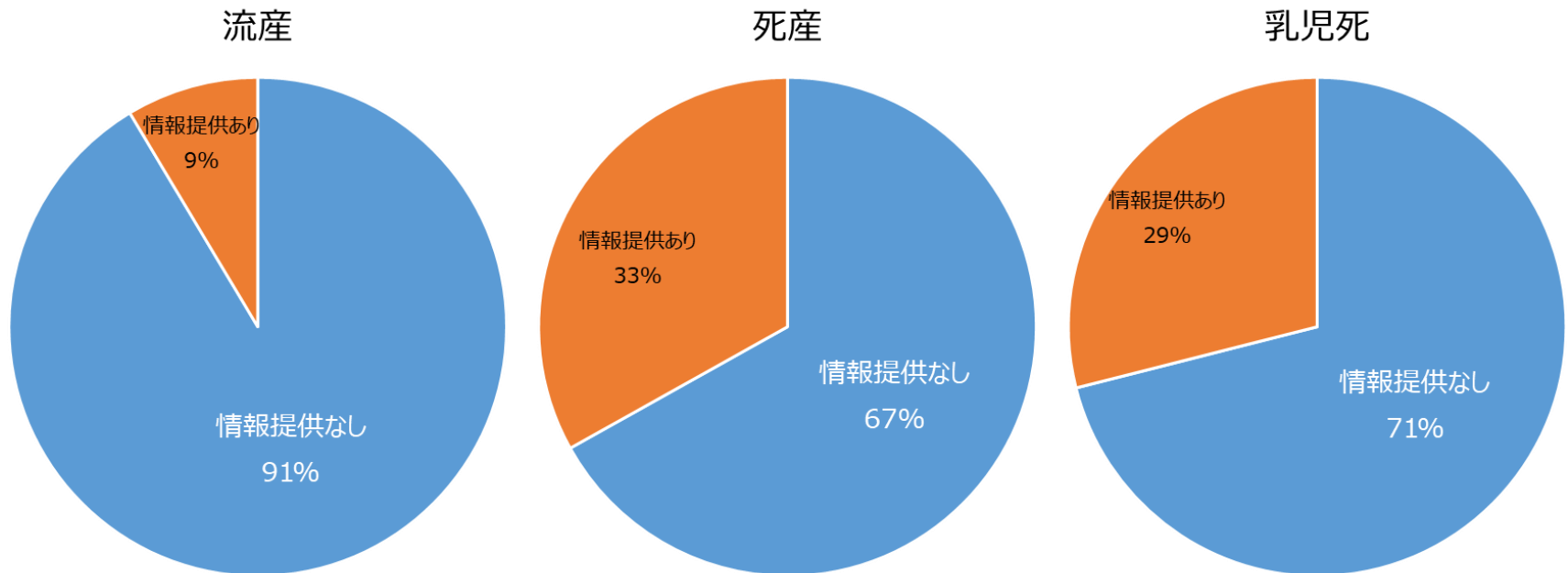
病院からの情報提供は「なかった」が41%、心のケアについても76%は提供なし



※ n=234 複数回答

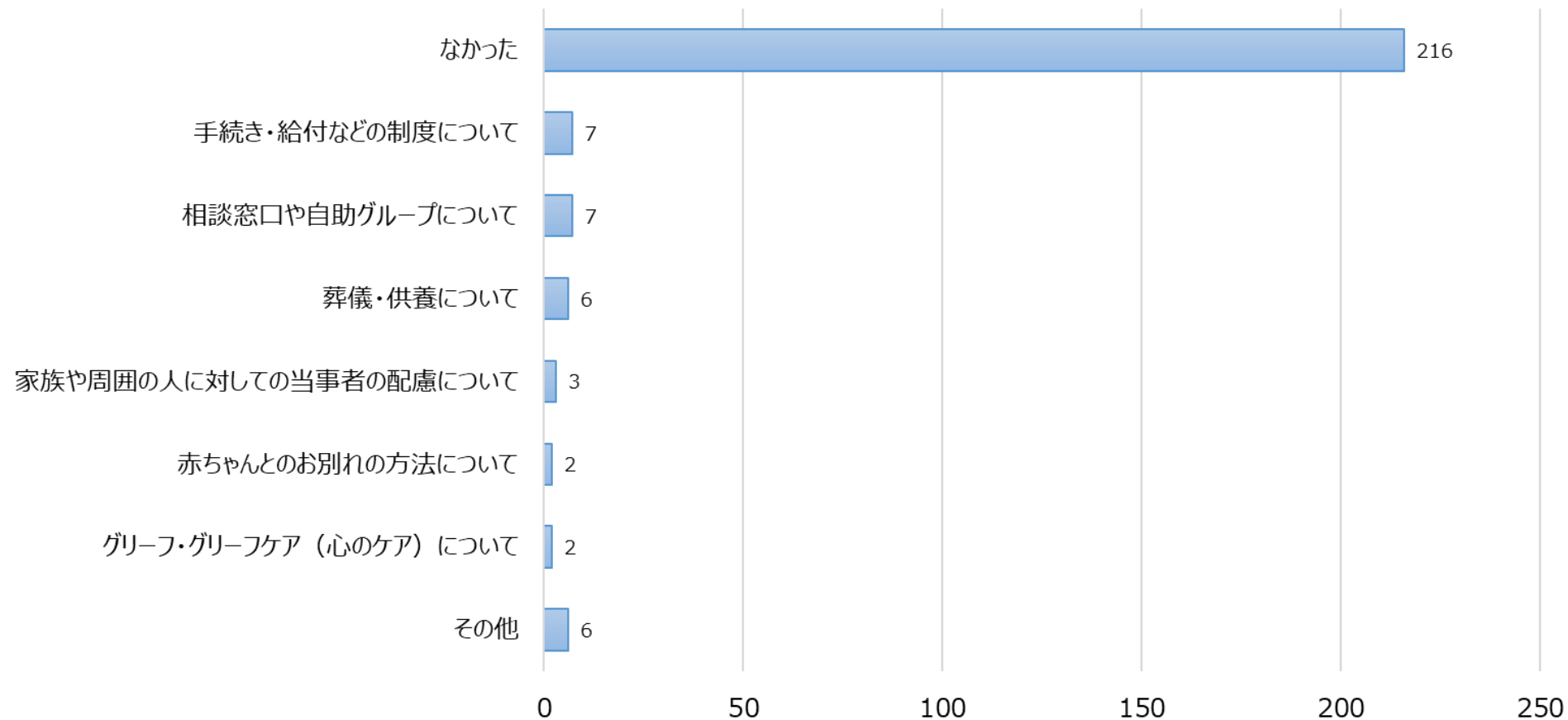
病院からの情報提供 心のケアについて

心のケアについては、死産、乳児死の場合でも約7割は情報提供なし



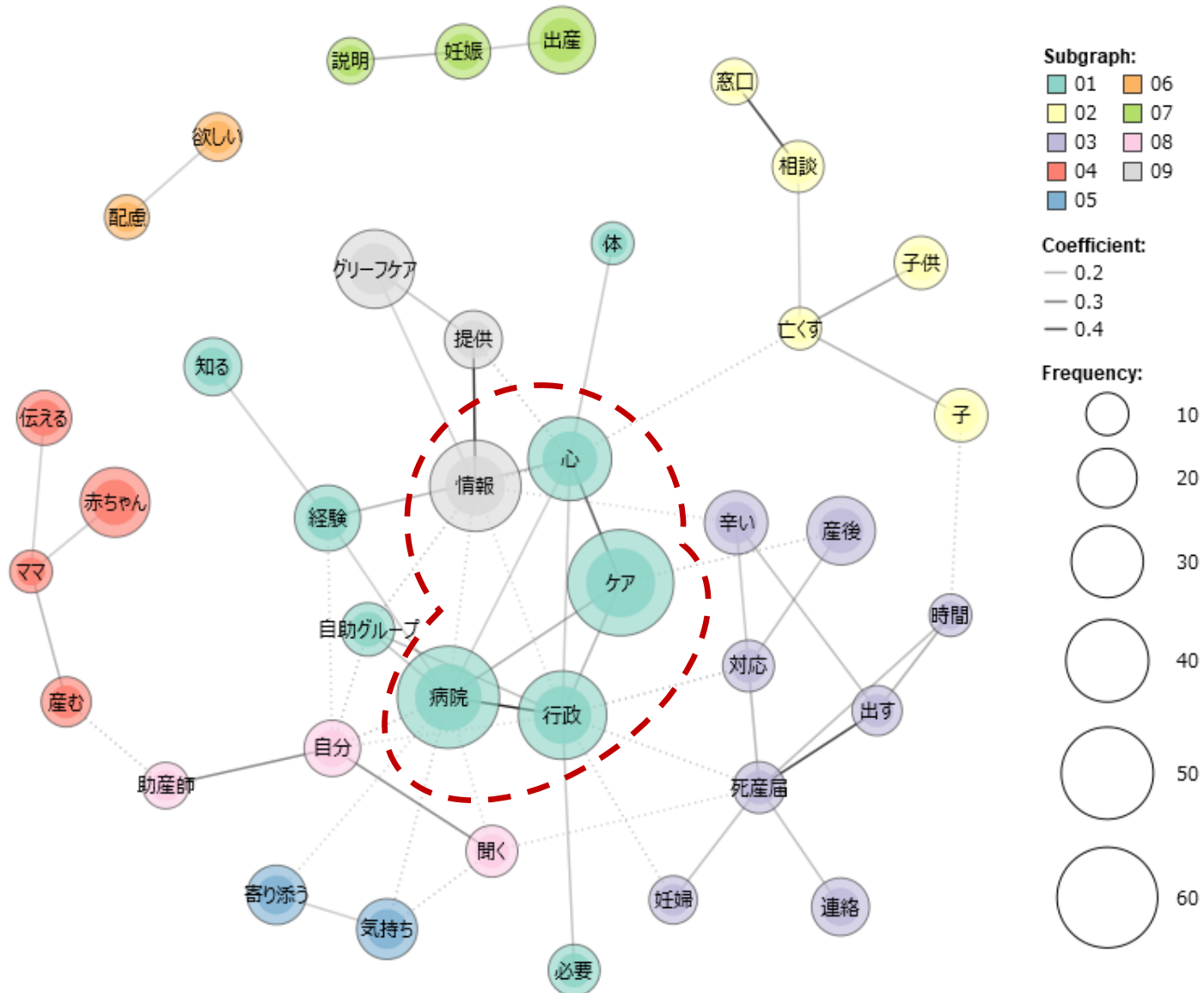
行政からの情報提供

行政からの情報提供は「なかった」が92%



※ n=234 複数回答

病院・行政に伝えたいこと（記述式 共起ネットワーク）



病院・行政に伝えたいこと（抜粋）

◇ 病院による心のケアへの対応に関して

- 病院が寄り添い、またはグリーンケア、産後ケアなどが充実していないといけないのではないかな？
- 病院側は産前からのグリーンケアについての説明、産後のグリーンケアとメンタルケアは必要だと思う

◇ 行政での心のケアへの対応に関して

- 行政としてもグリーンケアを進めるべきだと思います
- 行政には、流産、死産、不育症に特化した相談窓口を作って欲しい
- 行政は、死産でも保健師さんの訪問サービスがあることなど、情報があるといいと思います
- 出産したので、子供が生きてる人と同様、行政からの産後のケアも欲しかった

◇ 行政内での情報連携に関して

- 行政に死亡届を出したにも関わらず、1ヶ月検診の案内が家に届いた
- 死産届を出しているのに行政から妊婦さんへの手紙が届き、辛かった
- とにかく行政間での情報を行き来を素早くして欲しい
- 行政に伝えたいのは妊婦さんを把握する課と死亡を扱うような課を連携して欲しいです

病院・行政に伝えたいこと（抜粋）

◇ 病院と行政の連携に関して

- 身体だけでなく、定期的な心のケアを、出来れば1年間位してもらえる体制作りを病院と行政で連携して作ってほしいです
- 通院が終わった後も、病院と行政からコンタクトをとって欲しいです
- 病院と行政がもっと連携をとって、経験者が必要なケアが受けられる窓口に早くなってほしい
- 病院と行政が連携をとり、ママのケアにも目を向けてほしいです
- 病院と行政で、情報を共有して欲しい
- 病院から市の保健センターに繋いで頂きましたが、もう少し早い段階で繋いで頂けるともっと良かったかな、と思います
- 流産、死産、病院から行政区の保健所に連絡をしてもらえたら、いちいち動くことも、話す必要も無くなるのではないかと、思った

病院・行政に伝えたいこと（抜粋）

◇ 心のケアに関する情報提供に関して

- 病院にもパンフレットなどを置いていて案内してほしかった
- 病院では、自助グループの紹介などなかったので、そのような情報があるとありがたい
- 心のケアの情報を病院で知ることができたらありがたいです
- 病院に冊子などを配布しておいてもらって病院で情報を得られるといいと思う
- 同じ経験をされた方の集まりのようなもののパンフレットを病院からもらえていたら自分で探す負担がなくて良いのではと思います
- 病院のスタッフの方は忙しいので、厚労省信頼できる機関などが冊子を作成して下さったらそれを渡すだけでも違うと思います
- 病院にも行政にも、もっと自助グループや、グリーフケアについての情報提供が欲しかったです
- 自助グループの存在を病院でも行政でもどこかで知りたかった
- 行政からの情報も役所等に行かなければ貰えないのではなく、病院に冊子などを配布しておいてもらって病院で情報を得られるといいと思う

流産・死産・乳児死経験者へのサポート体制

行政・病院・自助グループ（専門家）が連携してサポートすることが望ましい

